

守恒小だより

発行者 北九州市立守恒小学校

校長 新森 修二

6年生が修学旅行に行きました。

9月17日、18日の2日間、6年生が修学旅行に行きました。行き先は、1日目が「吉野ヶ里遺跡」「大刀洗平和記念館」、2日目が「城島高原パーク」「うみたまご」です。

吉野ヶ里遺跡では、竪穴式住居や物見櫓、高床式倉庫などを見学しました。社会科で学習したものを実際に見ることができました。ある児童が私に、「歴史の中に浸った感じがしました。」と話してくれました。暑さのために全てを回ることができませんでしたが、また機会があればじっくりと見てもらいたいと思いました。

昼食後に訪れた大刀洗平和記念館では、平和集会を開き、全校児童で作った千羽鶴を送りました。その後、大刀洗の歴史や悲しい過去の出来事について学びました。戦争の事実、命の大切さ、そして平和の尊さについて学ぶことができました。ここでは、ある児童が、「なんで戦争なんかしないといけないのか。話し合いで解決できないのか。」と話していました。これからみんなで考えていくことが大切だと思いました。

ホテルでは、温泉やお土産選び楽しみました。お土産を買うときは、計算をしながら、慎重に買い物を楽しんでいる姿が印象的でした。品物を吟味したり、単価を計算したりしている姿が素晴らしかったです。

夜は、早く寝る子が多かったです。友達とおしゃべりを楽しんだ子ども達もいた様ですが、静かに過ごすことができていました。朝も、時間やルールを守る姿がとても立派でした。

2日目は、城島高原パークを楽しみました。班の友達と一緒に回りながら、みんなで話し合ったり、折り合いをつけたりして楽しむことができていました。私はある班と一緒に、ミッションをクリアするアトラクションに入りました。すると、それぞれのミッションで互いに助け合う姿にとっても感心しました。私も助けてもらい、安心して一緒に活動することができました。子ども達が、この集団の中で安心して過ごせる理由がよく分かりました。

午後からは、別府の「うみたまご」を見学し、帰校しました。

修学旅行を通して特に感じたことは、子ども達の中から聞こえる声が不満や愚痴ではなく、友達を思う声や前向きな声が多いということです。話を聞いていてとても心地よくなりました。

6年生は卒業まで半年です。これからの活躍が更に楽しみになりました。

